

第380回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	4番 吉田貞子	<p>1 教育の重点事項について</p> <p>(1) 新学習指導要領実施にむけた教育課程の編成と環境、体制整備について</p> <p>(2) 高度情報化社会に対応する情報活用能力の育成</p> <p>(3) 「他」の教育活動を活用した食育の指導の内容</p> <p>(4) 昨年実施した外部アンケート、外部評価の結果とその結果の総括、反映しようとする内容 本年度の学校運営における自己評価の方法をどのように活用しようとしているか</p> <p>(5) 薬物乱用の実態と防止教育の内容</p> <p>(6) 有害サイトのフィルタリングの利用促進の手法</p> <p>(7) 図書館資料の活用をどのように拡大するのか</p> <p>(8) 学社連携推進会議を活用した、学校教育と社会教育の連携はどのように構築しようとしているか</p> <p>(9) 推進が困難であった総合型地域スポーツクラブの設置は進展しているのか</p> <p>2 就学援助について</p> <p>実態と傾向、課題について</p> <p>3 障害福祉計画について</p> <p>(1) 県の計画では福祉施設入所者の地域生活移行や一般就労移行の目標値が当市より高いが整合性をどうはかるのか</p> <p>(2) 「工賃倍増5か年計画」をかかげているが当市の工賃の実態と倍増するための施策展開、課題について伺う</p> <p>(3) 新法移行にともなう施設退所者の受け皿、情報提供、施設支援、居宅支援の整備について</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>
2	11番 保科惣一郎	<p>1 刈田病院と地域医療の将来構想について</p> <p>6月12日、河北新報朝刊に大河原町の県南中核病院が「刈田病院と機能分化、そして13年度をめどに実現する」、との記事が掲載されました。これは県南中核病院が改革プランにまとめたもので、その内容は公立刈田総合病院との間で機能の分化と集約化をめざすとのことであり、この件に関して県南中核病院と、どのような話し合いがもたれてきたのか。</p> <p>2 認知症の介護について</p> <p>(1) 今後、ますます高齢化の進展に伴って、寝たきりや認知症の高齢者が急速に増えております。白石市において認知症を患っている方々の状況はどうなっているのか</p> <p>(2) 地域包括支援センターは、地域の介護を守る中核施設であります。そのセンターを支える保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの人数は適正数か</p> <p>(3) 「認知症サポーター100万人キャラバン」キャンペーンが始まっています。認知症の人のつえにな</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	9番 佐久間 儀 郎	等、学力向上のための今後の取り組み方をどのように考えられているのかをお尋ねし、そして、成績結果公表の論議のなかで、行政の説明責任の観点を踏まえ、 4)本市の従来方針の再検討、方針を変換する可能性があるものか、以上の諸点について教育長の答弁を求めます。	
5	12番 四 電 英 夫	1 遊休施設の利活用について 旧白石職業訓練校建物の有効活用についておたずねいたします。 この施設は、鉄筋コンクリート3階建の堅牢な建物であります。市内白川に県立白石高等技術専門学校として移転建設されたため、使用されないまま現在に至っております。所有は宮城県であり県では建物を取り壊し撤去する方針であると伺っております。 そこで、貴重な建物を取り壊すのではなく、改修して何らかの施設として再生利活用する方向に要望するお考えがないか伺いいたします。	市 長
6	18番 制 野 敬 一	1 防災体制の強化について 防災に対する意識は、まだ地域差があると感じられる。 今後更なる意識向上のために行政としてどのような取り組みをしようと考えているのか伺いたい。 2 企業誘致について 現在までの進捗状況と今後の見通しについて所見を伺いたい。	市 長 市 長
7	3番 水 落 孝 子	1 新型インフルエンザ対策について 新型インフルエンザは、WHOでフェーズ6に引き上げられ、また、秋にも第二波があるのではないかとこの予想もあることから、今後の動向が注目されています。「対策は万全にしてあるから冷静な対応をお願いします。」との報道はもっともで、冷静な対応が必要なことは当然ですが、5月の神戸市での感染のひろがりの中で、十分な対策への反省点が指摘されていることから、次の点について伺う。 (1) 発熱相談センターに電話が殺到し、電話がかからない状態に陥らないために、電話台数を増やす・24時間対応に切り替えるタイミングと準備態勢について。 (2) 発熱外来を行っている病院に、電話連絡もないまま次々患者が受診に訪れることも予想しての対策について (3) インフルエンザキットやマスク、ゴーグルなどの支給とタミフルのスムーズな確保策について (4) 入院が必要な患者を受け入れる病床は市内に何床か。不測の事態に陥った場合の対応準備について。 (5) まちに人がでないことによる営業に深刻な影響が及ぶ状況が出たときの緊急対応について厚労省は去る6月9日に通知を出し、新型インフルエンザの感	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 水落孝子	<p>染拡大を防ぐために自治体の要請で臨時休業した介護・障害者・保育施設などの休業補償に、「地域活性化交付金」を活用しよう求めているとのことですが、その計画について次の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設、短期入所、通所施設などの臨時休業によって生じる損失補償 ・社会福祉施設のマスクや消毒液などの経費 ・保育施設の休園や放課後児童健全育成事業の休止に伴う保育料・利用料 <p>(6) (5)に伴い、既に予定・計画されていた「地域活性化交付金」を活用した事業への影響は出るのか？ 出るとしたら、その対策は？</p> <p>2 第4期介護保険事業計画について</p> <p>第4期介護保険事業計画が出たが、本市における高齢者の推移、介護認定者の予想推移などから、介護の基盤整備として、最も市民の希望していることは、特別養護老人ホームへの入所希望であり、年々希望者が増加している。特に、経済状況の悪化と共に、先般の介護保険制度の改定により、介護施設のホテルコストの自己負担が求められるようになり、負担に耐えかねる人の増加もあり、特養入所希望者の増加傾向は今後も続くと考えられる。しかし、計画では、待機者に見合った基盤整備にはなっていないのではないかと。そこで次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 希望する人が安心して施設で暮らせるように、施設増設が必要と考えるが、待機者解消策について。 (2) 平成23年度の介護療養型医療施設の廃止に伴う受け入れ体制について。 (3) (2)によってますます待機者にとって、入所は狭き門にならないか。 (4) 基盤整備がすすまない原因はどこにあると考えているのか。 <p>第4期においては、介護認定方法の見直しがあり、今までより介護度が低くなる場合があると危惧されていたが、実際の状況はどうなのか、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (5) 新しいソフトで行った一次判定で、以前より軽く出た例はあるのか？ あるとすればどれくらいか。 (6) 二次判定は仙南広域で行われているが、利用者の実態を良く知る介護施設の職員や、担当のケアマネジャーの同席は、認められているのか。 	市長
8	7番 山田裕一	<p>1 更なる市民サービスの向上について</p> <p>市長が掲げる「共汗・共学・共生」のまちづくりを目指すには、情報共有が欠かせないと思われる。インターネット等を活用し、更なる市民サービスの向上を進める必要が求められることから以下の点について市長、及び教育長の見解を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) メールマガジンを始めて市政情報を積極的に発信してはいかがか。 (2) 本市ホームページに予算書及び予算説明書をアップしては、いかがか。 	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	7番 山田裕一	<p>(3) 公共施設予約をインターネットから可能にしては いかがか。また、中央公民館や、学校施設の貸し出 しについて当日使用申し込みを可能にしてはいかが か。</p> <p>2 新型インフルエンザ対策について</p> <p>6月12日、WHOが新型インフルエンザの危険度 を世界的流行のフェーズ6に引き上げた。 今後の感染拡大が懸念されるが、本市独自の危機対 応マニュアルが必要と思われるが市長、教育長の見解 を伺います。 また、6月3日にハーストビル市から交流事業の中 止の連絡が入ったとの行政報告があったが、現時点で 他の姉妹友好都市交流事業への影響はないか見解を伺 います。</p> <p>3 新学習指導要領について</p> <p>本年4月から全国の小学校・中学校において、新し い学習指導要領の一部が先行実施されます。また、幼 稚園の新教育要領が全面実施されるとともに、特別支 援学校の新学習指導要領等についても幼稚園、小・中 学校に準じて実施されます。 本市において、今回の新学習指導要領実施でどのよ うな成果を望めるのか教育長の所見を伺います。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>教育長</p>
9	1番 沼倉昭仁	<p>1 行政報告「白石市土地開発公社の裁判」について</p> <p>先日の新聞報道によれば、白石市土地開発公社が、 白石市への工場進出計画を撤回した富山市の金属加工 販売会社に用地造成の測量設計費など約540万円の 損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決として、仙台高裁 は、請求を棄却した仙台地裁の判決を支持し、公社の 控訴を棄却したことが報じられた。 この裁判を起こした理由を、市長は、今年2月の私 の一般質問への答弁のなかで、企業から、新工場立地 のための用地取得の要請を受けたので、白石市が白石 市土地開発公社に依頼して、造成・測量設計業務を発 注し、委託金を支払い済みであったが、この企業の一 方的な立地見送りにより、公社として損害が発生した ため、損害賠償請求の訴えを起こしたと答弁された。 一般的に「契約違反」とは、契約を締結するた めの客観的な合意があるにもかかわらず、正当な理由 もないのに約束を守らなかったとき、とされている。 つまり、「契約違反」とは、契約が結ばれるであ るうことが客観的に認められ、それを信頼して活動し てかかった売主の費用を、理由も無く一方的に約束を破 棄した買主が支払うことを例外的に認めるもの、とさ れている。 今回の裁判では、そもそも「裁判」に踏み切るた めに必要な、企業と白石市側との企業誘致についての 「合意文書」は存在せず、さらに「調整池」について、 企業側は十分に納得していなかったと判断されたこと になる。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	1番 沼倉昭仁	それがなぜ「契約違反」を理由とする「裁判」まで起こし「控訴」にまで踏み切ったのか。市長の明確な答弁を、再度、お願い致します。	
10	2番 管野恭子	<p>1 小中学校の太陽光発電システム設置について</p> <p>国補助及び地域活性化、公共投資臨時交付金で最大97.5%まで支援のある2009年度補正予算のスクールニューディール構想事業を活用し、諸視点から効果が期待される太陽光発電装置を小中学校に設置すべき時と考えるが所見を伺う。</p> <p>2 小中学校の校庭の芝生化について</p> <p>スクールニューディール構想事業の一つでもある標記の件は利用の安全性、多様性、かつ、環境保全、教育等の見地から本市への導入を望むものであるが、所見を伺う。</p> <p>3 医学生修学資金貸付制度の設置提案その後について</p> <p>第376回定例会平成20年12月18日で一般質問した標記の件につき、その後の経過状況について伺う。</p> <p>4 ヒブワクチン接種の助成について</p> <p>我が国では年間約1000人の子どもがヒブの自然感染で細菌性髄膜炎になり約5%が死亡、約1/4が後遺症で苦しんでいる現状がある。予防ワクチン接種により罹患率を大きく減少させることができるものであるが、接種費用が1回7000円～8000円であり、家計への負担が大きい、よって本市として幼い子ども達の生命を守るために助成を検討すべきと考えるが所見を伺う。</p>	<p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
11	5番 沼倉啓介	<p>1 新教育長の教育行政に対する基本的考え方について</p> <p>長年白石市の教育の発展に寄与された教育長が勇退され、新教育長が着任された。トップが代われれば何かの変化があると推測されるのは容易なこと。 新教育長は前任者の執行された白石市の教育をどのように捉えられておいでであったか。 それらの中において、継続すべきはどのようなもので、変化を要するものはいかなる有様として横たわっていたか。 前任者との基本的に異なる考え方、視点あるいは行動力学などについて、胸の内をお聞かせをいただければと存じます。 物事の理解はまずトップに立つ方の思いに触れる。今後の白石市の教育を見るうえで、大切なことと思ってお尋ね致します。</p>	教 育 長